

内閣総理大臣 安倍 晋三 殿

防衛大臣 河野 太郎 殿

オスプレイの木更津基地暫定配備の撤回を求める要請

防衛省は昨年5月、陸上自衛隊が導入するアメリカのオスプレイ17機を木更津基地へ暫定配備したいと木更津市に要請しました。オスプレイは当初から構造的欠陥機と指摘され、墜落炎上事故を繰り返し、多くの犠牲者を出してきました。

その危険なオスプレイの暫定配備に、住民の怒りと不安は高まっています。

なぜ木更津基地なのか？明確な理由が不明な暫定配備計画

政府が配備先とした佐賀空港は、地元佐賀市や有明海漁協等が配備に反対し、力強い反対運動が続いています。それでもオスプレイ配備を強行したい政府は、暫定配備先として木更津を選択しました。しかし、防衛省による住民説明会では、何故、木更津なのかの明確な根拠は示されませんでした。

暫定配備期間5年は拘束力なし、恒久配備に繋がる危険も！

木更津市と防衛省の合意文書では、「暫定配備期間は5年以内を目標とする」としていますが、あくまで目標であり拘束力は有りません。閣議決定された政府答弁書は、「配備期間は明示できない」としており、このままでは恒久配備に繋がりがかねません。

配備だけでなく、定期機体整備も問題です。当初、1機当たりの整備期間は3～4ヶ月と説明されていましたが、25ヶ月を費やすなど、オスプレイの損傷がいかに深刻であったかが明らかになりました。「欠陥機」オスプレイ整備後の試験飛行が、私たちの頭上で行われることは認められません。

要請項目

1. オスプレイの木更津駐屯地への暫定配備を撤回すること。
2. 陸上自衛隊が進めているオスプレイ導入を中止すること。
3. 普天間基地配備の米海兵隊オスプレイの定期機体整備を廃止すること。

氏名	住所

〈呼びかけ団体〉 オスプレイ来るな いらない住民の会

〈取り扱い団体〉

〈署名送付先〉 〒292-0067 木更津市中央 1-15-30 吉田 勇悟 080-6532-8254

※署名は、「〃」「同上」ではなく住所を記入願います。尚、この署名は、上記目的以外には使用しません。